

令和7年2月

## 【八戸市教育委員会】 校務 DX 計画

八戸市教育委員会では令和6年2月に第3期八戸市教育振興基本計画を策定し、指導・運営体制の充実のために、教育DXの推進を明示した。また、教職員の負担軽減や働きやすさの向上、データの連携・分析・利活用による学習指導・学校経営の高度化・効率化を目指し、校務DXの推進を図ることとした。本計画は教育振興基本計画を実現するために企図したものである。

現在、八戸市内小・中学校で運用している校務支援システムは、令和7年度中の更新を予定している。この更新を軸に八戸市立小・中学校の教育ネットワークについて、次世代の校務デジタル化を支える環境として再構築することを検討する。これまでの校務処理において、校務支援システム、ネットワークシステム、グループウェア、保護者連絡アプリ等、それぞれのシステムが独立して運用されているため、ユーザ管理やデータ連携、情報資産の管理等が複雑であった。学校現場でシステムの不具合が発生した場合には、サポートセンター、取り扱い業者、教育委員会等、問い合わせ先が多岐に渡り、教職員の利便性向上に結び付いていないと言えない状況である。そこで、文部科学省が令和5年度に実施した「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の成果を基に、八戸市立小・中学校の校務デジタル化の実現に向けた課題を整理し、次期八戸市教育ネットワークとして設計・構築を進めることとする。そのために今年度は教育DX委員会を新規に立ち上げ、現在検討を重ねているところである。

校務デジタル化のおおよその推進過程は以下のとおりとする。

I期【R6】(新校務用端末導入に関わる整備)
<ul style="list-style-type: none"><li>・Microsoft365 A3</li><li>・校務用端末の更新→ 校務系と学習系の一台化</li><li>・ネットワーク環境整備→ VPN回線への切り替え</li></ul>
II期【R7】(校務支援システム更新に係る整備)
<ul style="list-style-type: none"><li>・専門業者によるネットワークアセスメントの実施</li><li>・生体認証を用いた多要素認証システムの導入(小・中1校ずつ選定し試験運用)</li><li>・現校務支援システム(統合型)の延長利用</li><li>・クラウド対応の情報セキュリティポリシーの策定</li></ul>
III期【R8】(校務支援システムのクラウド化)
<ul style="list-style-type: none"><li>・多要素認証システムの導入</li><li>・校務支援システムのクラウド化</li></ul>
IV期【R9～R11】(校務系データのクラウド化)
<ul style="list-style-type: none"><li>・ゼロトラストシステム構築による校務のロケーションフリー化</li><li>・グループウェア機能のクラウド化</li></ul>